

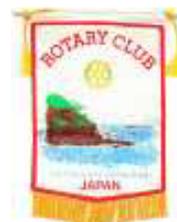
夢をかたちに

2008~ 2009年度  
国際ロータリーテーマ  
夢をかたちに」

## 第2820地区 Weekly Bulletin

# HITACHI SOUTH ROTARY CLUB

例会場 要害クラブ TEL 0294-36-2020  
例会日 毎週火曜日 12:00~ 13:00  
事務所 日立市末広町 1-1-3 国分協同組合内  
TEL 0294-36-5074 FAX 0294-37-2176  
mail rotaso@iplus.jp  
http://www.xyj.co.jp/hitachi/south-rc/



会長;星 勝治 副会長;木本 貴一  
幹事;鹿志村 高道 会報委員;小林 英典 鈴木 幸一 高島 章行

33 平成21年 3月17日(火) 本日のプログラム: 卓話 パスト会長

次回予告 平成21年 3月24日(火) プログラム: 卓話 / S A A

### 例会報告

3月17日(火)12:00 開会  
弓野 博司 S A A 委員長



#### 会長の時間

星 勝治 会長



みなさんこんにちわ。今日の新聞は全て日立製作所の役員一新の記事でした。その記事を読んで我々中小企業と違い大企業は人材が豊富なので羨ましく思いました。その中で朝日新聞に当会の山本会員(日立商工会議所会頭)の記事が載っていました。モノ造りは報われなければならない。一生懸命努力してモノ造りをした者は必ず報われる時代が来るとの記事にモノ造りに携わる私はとても感動いたしました。自国の技術で製品を造る喜びを感じる国は世界でドイツ・イタリア・日本だそうです。発展途上国は経済が安定していないので国民は身を守るために転職を繰り返し広く様々な仕事を覚えるそうです。現在中国では日本のサービス、ドイツの技術、安さの中国をモットーに世界に通じる企業、国創りをしているそうです。以上です。



#### 幹事報告

鹿志村高道 幹事



R I 会長賞の申し込み期限が今月一杯です。昨日その条件を満たすと判断いたしましたのでガバナ事務所へ申請書をお送りいたしました。交換留学生のパットさんですがホストファミリーの飯村宅より小川宅へ無事引越し致しました。以上です。



#### 出席報告

代理 小林委員長

会員数	出席	欠席	出席率	訂正	免除
36名	20名	16名	58.83%	72.22%	3名



## ニコニコBOX

白石委員長

白石さん、卓話宜しくお願ひ致します。  
星 勝治

おくりびと白石委員 卓話宜しくお願ひします。  
鹿志村高道 千葉 省三 小林 英典  
宮本 尚彦 石川 國博

午前中にお墓の掃除とお参りをしました。  
川崎 健輔

白石さん、本日ニコニコと卓話お願ひ致します。  
小山 高一 信太 克己 山本 忠安

今日の朝日新聞全国版には、日製社長交代の記事が、  
地方版には、山本会頭の日立市を心配する記事が  
載ってました。  
須田 晃

桜川ぞいの早咲き桜が咲き始めました。  
白石 満義

春彼岸の入りですね。  
弓野 博司 岩崎 敬次 大森 孝之  
武藤 真一 小澤 興 高島 章行

PE終了しました。  
木本 貴一

桜を数輪咲くのを見つけました。  
山縣 敏史



本日も多くの方からニコニコBOXへの  
ご協力誠にありがとうございました



本日計 24,000円

累計額 966,000円

## 委員会報告

### 木本副会長

13、14日と会長研修に行ってまいりました。  
第7分区ガバナ補佐エレクトよりロータリーバッ  
チの着け方について。  
ロータリーバッチと財団関係のバッチは左胸、テ  
ーマバッチは右胸に着けるとの提案がありまし  
た。  
よろしければ4月の星年度の地区大会で統一した  
いとのことでした。  
ワイキキロータリークラブのスケジュールについ  
て。  
宿泊、歓迎会、市内観光、夜間例会出席予定等を  
書面にて後日案内いたします。

## 鳥帽子会 千葉委員長

星年度第4回鳥帽子会を3月18日に開催いたし  
ます。  
今回8名の予定です。

## ロータリー財団 石川委員長



ロータリー財団よりポールハリスフェローの贈呈  
星会長

## 本日のプログラム：ニコニコBOX卓話

白石 満義 委員長



ニコニコBOX委員長の白石です。ニコニコBOXの本年度目標が100万円ですが実際に皆さまからご協力いただいているのが2月末の段階で891,000円と大変大きな金額となっております。ただこちらには忘年例会オークション売上げやウィキキRC訪問時ご寄付やガバナー公式訪問時のご寄付など約10万円程予定より多く入金になっているのかなと思われま。月平均でみれば約10万円とみれば良いような感じですので残り4ヶ月ですので130万円くらいにはなりそうです。100年に一度の大不況の中で皆さまからこれだけのご寄付をいただいているのは大変ありがたいこととございまして、現在ニコニコ月間賞を設定させていただいているのは楽しい例会を目指すのと時にはユーモアを感じていただきたいとの目標がある為で失礼な物言いになる時もあるかと思われますがロータリーの友情に免じてお許しいただきたいと思ひます。これからもニコニコに対するご協力をお願いしたいと思ひます。先程ご紹介にもありましたアカデミー賞をいただいた「おくりびと」についてお話をさせていただきます。原作者は「あおきしんもん」という方で富山でお生まれになり35歳で納棺夫という仕事に就かれた。納棺夫自体がこの映画が出るまでは知られていないお仕事だと思ひますが仕事に就いた時は親族からは絶縁状態になり、また奥様からはそんな仕事はやめてくれと泣いて頼まれたとかあるようです。本が出されたのが16年ほど前でお仕事に就いてから20年程経ってからのことですが葬儀業者さんに対する偏見がまだまだ強い時代のお話です。現在は葬儀業も昔と違い従来のような仕事の仕方ではやっていけなくなっており職業奉仕で何人が表彰を受けさせております社員は一級の葬祭ディレクターという資格を持っておりこれはかなり難しく宗教・宗派の勉強から実技も含め司会の実務等合格率の低

い資格です。ひと昔前の葬儀屋さんというのではこの業界では成り立たなくなっております。作者のあおきさんも納棺夫という仕事だけではなく色々勉強し浄土真宗本願寺で講演をしたり経験を通じて「命のバトン」という本を著したりとこの方は只者ではないと思ひます。ご遺体を納棺するというお仕事はやはり大変な作業でいい状態ばかりとは限りません。映画の中では非常にきれいな映像とBGMで納棺の所作が描かれておりますが地域や年代で若干違うようで、どこへ行っても映画のようなのかということそうゆうものでもないというのが実情です。これからお葬儀もだいぶ変わってくるだろうと思ひます。まず町内のお手伝いがなくなってきました。急激に変わって2・3年で100%なくなりました。以前はあつたろくしゃくも今では一番親しかつた方のお手伝いをいただくという事で身内の男性にお手伝いいただく様になりましたが子供がいなかったり結婚してなかったりでその男性もいないという状況です。お清めも今はお酒が出ません。前は鰹節もついておりましたが今は塩だけになりました。今後も急激に変わってくる事が予想されます。身内も少なくなるし、葬儀を遠縁の者にやらせてもらってもお骨をどうするというような事が現実におこっております。もしもの際にはこういうようにすると事前に準備する事をおすすめし、私の卓話とさせていただきます。ありがとうございました。